

まあちゃんのながいかみ

はあちゃんと みいちゃんは、かみのながいのがじまんです。でも、まあちゃんのかみは みじかい おかっぱです。

「あしたたち、まだ もっと のばすの。ねえ」

と、はあちゃんと みいちゃんはいいました。

「ふーんどれくらい？」

と、まあちゃんはききました。

「せながぜんぶかくれるくらいよ。ね、はあちゃん」

「ね、みいちゃん」

「なーんだ、あんたたち たったのそれしか のばさないの？」

あたしなんかね、もっとずつとのばすんだから」

と、まあちゃんがいいました。

「へえどれくらい？」

「もっと、ずつとずつとずつとずつと、ずうーつとよ！ そのながいことつたらね・・・」

はしのうえからおさげをたらしてさかなが、つれるくらいなのよ。

ほんのちよっぴり えさを つければ、かわのさかなは、もうなんでもかんでもつれるのよ。

それにね・・・

ぼくじょうの さくのところからおさげの ロープを びゅーんと とばせば、うしだつてつかまえられるのよ。

ひよいと つのに ひっかけて ぐいぐい ぐいぐい ひっぱれば、まるごといつとうあたしのもんよ。

それにね・・・

そとにだつてねられるの。のりまきみたいに くるまればふかふか ふとんになるんだもん

それにね・・・

右のおさげと 左のおさげをびーんとはつて きにむすべば うちじゅうの せんたくものをぜんぶ いっぺんに

ほせるのよ。

そのあいだに あたしは本を10さつよんで

「おてつだいありがとう」っておかあさんにいわれるの。

「だけど、そんなにながかったら あらうのが、たいへんじゃない。」と、はあちゃんがいいました

「それにどうやってとかすのよ、そんなかみ」とみいちゃんもいいました

「へっちららよお、おつもしろいもんよ！」とまあちゃんはいいました。

シャンプーつけてあらうとね、くもまでとどく おっきな ソフトクリームになるんだもん。

あまくないのがさんねんだけど。

それにね、

かわのきしべにねそべつて かみをきれいにゆすいたら ゆらーり ゆらーりながれてつて

かわのこんぶになるんだもん。

それにね・・・

かみがながくなるころにはいもうとが10にんうまれてるわよ。

だからね・・・

おねえさんのあたしは のんびり いすにすわつてたつてだいじょうぶ。10にんのいもうとが、

せつせとかみを、とかしてくれるわけ。

「だけど、ふだんはじゃまじゃない？」

「そうよ。ひきずつちやつてこまらない？」二人はそろつてききました。

「だいじょうぶ。そんなときは、パーマにしとくの。するとね・・・」

あたしのかみはもりのなるのよ！

ことりも、りすも むしたちもみんないっぱいあつまって、とつてもすてきなもりになるのよ！

「ふーん。それって たしかに とつてもいい……」

「うん。それって たしかに とつてもいい……」

はあちゃんと みいちゃんは うっとり いました。

まあちゃんのかみ、はやく のびるといいね。